

犬の”痛み”チェック

名前 _____

【一般的な犬の特性】

- ・多くの犬は痛みを感じた時、痛みや患部を隠そうとする
- ・人間よりも犬の方が痛みに強い
- ・痛みや不快感の現れとして普段の生活に些細な変化が見られることがある

人間と犬の「痛みの感じ方」はそれぞれ違って、犬の痛みの度合いを理解することは獣医師にとっても難しいものです。

以下のリストとスコア表、イラストを参考にしてご自宅での様子をチェックしてください。

※下部のイラストは”痛みがある時”の犬の様子の一例です。

眠っていたり休んでいる時に4のような状態になっても異常ではありません🐶

スコア	質問
	起き上がった時横になったりするのが以前より遅くなった
	歩くときに足を引きずったりリズムが不規則になる
	車や家具などに飛び乗ったり飛び降りたりすることを嫌がる
	滑りやすい床の上を歩くのが難しい
	階段の上り下りや障害物を乗り越えるのが難しい
	遊んだり運動したりすることへの興味が減った、または興味がなくなった
	落ち着きがない、または快適な姿勢を見つけるのに時間がかかる
	食欲の低下・口から食べ物を落とすしぐさが見られる
	人や同居の動物との触れ合い・交流が減った(隠れたり触られるのを嫌がる)
	体の一部を過度に舐めたり、噛んだり、引っ掻いたりしている
	異常な姿勢で寝ている
	近づいたり抱き上げようとした時に鳴く、または攻撃的になる
	休んでいるときに喘ぎ声が出る
	安静時に全身または手足が震える
	目の表情が変わった(見つめる・瞳孔が広がる・虚ろ・細める)

スコア

